

報告
パラスポーツ応援プロジェクト
 (ROAD TO TOKYO 2020)
パラスポーツ応援プロジェクト例会



星野恭子氏

パラスポーツ応援プロジェクトは、去る(一〇月二四日)に、パラスポーツのフリーライターである星野恭子さんをお招きし、Zoomにて例会を行い、十二名が参加しました。

星野恭子さんは、視覚障害者の伴走活動をきっかけにパラスポーツに魅せられ、約二五年にわたって国内外のパラスポーツ大会を精力的に取材し、最前線でその魅力を発信し続けているフリーライターです。

二〇二二年へ延期が決まった後のパラスポーツ界の状況や来年の出場に向けてトレーニングを続けているパラスリートの現在の心境

実際に取材しているからこそわかる彼らの努力や精神力など、私達では日頃頼み知れないお話をさせていただきます。

十一月十九日には、Zoom例会第二弾で、視覚障害者柔道の半谷静香選手をお招きし、来年の大会に向けての意気込みや、コロナ禍の今、取り組んでいることを直接お話しさせていただきます。

アスリートの方々はフィジカル(肉体)もメンタル(心)も「超人」です。それでも大会の延期という我々の想像以上の困難を乗り越えている彼らにエールを送り、さらにまたパワーもいただく双方向の例会にさせていただきます。ふるってご参加ください。

三嶋岐子
 弾まるみ (八王子支部)

大会開催日まで
あと二九七回!

本
リモート時代に座右として
『すぐよくわかる絵解き広報』

今年一月に上梓された「新版



報・PRの基本」(日本実業出版社)に続く新作。今回はコロナ禍が長引き、リモートワークが浸透する中で企業の広報担当者も時代の流れに対応した広報活動が求められる。この緊急課題にこたえて急南書をとという要請にこたえて急遽出版されたのが本書である。図解を多用したわかりやすい紙面はすぐに業務に役立つだろう。また、第六章には「リモート時代に起る、もしも」のための適切な危機対応とは」が設けられている。これを読んでおけば不測の不祥事や報道などに対応する際の心構えや準備ができるだろう。

また、山見氏の豊富な経験だけでなく、各所に過去の偉人・知識人たちの名言が紹介されており、教養に裏付けられた実務書となっている。SNSの発達で中小企業も自社の情報発信が容易になる一方、コロナ禍で対面でのコミュニケーションが制限される時代。

● 著者 山見博康氏
 山見インテグレーション(株)
 (江東支部会員)

● 出版社…同友館

● 発行…2020年10月5日

● 定価…2500円(税別)